

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地																					
麻生外語観光&製菓専門学校		平成3年1月8日	瀧口 博俊		〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-14-17 (電話) 03-6734-2939																					
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地																					
学校法人 麻生塾		昭和26年3月12日	麻生 健		〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町3-38 (電話) 0948-25-5999																					
分野	認定課程名	認定学科名			専門士	高度専門士																				
商業実務	商業実務専門課程	ブライダル・ウェディング科			平成28年文部科学省 告示第19号	-																				
学科の目的	結婚式場を備えたホテル及び結婚式場のスタッフ、衣裳コーディネーターなどブライダル産業に幅広く関わり、活躍できる人材の育成を目指す。																									
認定年月日	平成26年3月31日																									
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技																		
2年	昼間	1705		600	1530	445	0時間	0時間																		
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																				
80人		58人	0人	2人	19人	21人																				
学期制度	■前期:4月1日~8月31日 ■後期:9月1日~3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期末試験、出席状況、授業態度 確認テスト等の総合評価																					
長期休み	■夏季:8月8日~8月15日 ■冬季:12月25日~1月6日 ■春季:3月9日~4月4日			卒業・進級 条件	ア. 指定科目全ての修得 イ. 各学年の出席率90%以上 ウ. 卒業基準検定の取得 エ. 学生としてふさわしい生活態度																					
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ガイダンスの実施。学科責任者との面談、三者面談の実施。			課外活動	■課外活動の種類 ボランティア活動 ■サークル活動: 有																					
就職等の 状況	■主な就職先、業界等(令和元年度卒業生) ホテル、ブライダル、旅行業界など			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業生に関する令和2年5月1日時点の情報)																					
	■就職指導内容 希望する業界(企業)と個々の適正を見定め、指導、助言を与える。 ■卒業生数 35 人 ■就職希望者数 35 人 ■就職者数 35 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 : 100 %				<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブライダルコーディネート技能検定</td> <td>①</td> <td>36人</td> <td>36人</td> </tr> <tr> <td>パーソナルカリスト検定3級</td> <td>③</td> <td>36人</td> <td>33人</td> </tr> <tr> <td>パーソナルカリスト検定2級</td> <td>③</td> <td>36人</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>マナープロトコル検定3級</td> <td>③</td> <td>36人</td> <td>8人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①~③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)</p>				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	ブライダルコーディネート技能検定	①	36人	36人	パーソナルカリスト検定3級	③	36人	33人	パーソナルカリスト検定2級	③	36人	17人	マナープロトコル検定3級	③
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																							
ブライダルコーディネート技能検定	①	36人	36人																							
パーソナルカリスト検定3級	③	36人	33人																							
パーソナルカリスト検定2級	③	36人	17人																							
マナープロトコル検定3級	③	36人	8人																							
中途退学 の現状	■中途退学者 3 名 令和元年5月1日時点において、在学者57名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者54名(令和2年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更のため ■中退防止・中退者支援のための取組 担任による定期ガイダンスや三者面談の実施、定期的な状況報告。			■中退率	5.3 %																					
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 東日本大震災により被災した進学が困難になった者を対象に入学金・校納金・寮費を卒業まで全額免除する。 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象																									
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																									
当該学科の ホームページ URL	http://www.asojuku.ac.jp/aftc/subject/bridal/																									

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業連携により実践的かつ専門的な職業教育を実施することで人材養成課程の質の保証・向上を基本方針とする。授業科目開設においては、卒業生に対する「お客様アンケート」結果による企業視点を軸とし、ブライダル業界において必要とされる知識・技能の修得を目指す。
また、企業連携により実施する、8週間のホテル実習と2週間のブライダル実習を通して実際の業務を体験し、企業からの指導を直に受けることで、学内での学習との相乗効果を図る。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

専攻分野における市場動向や地域産業振興の方向性等に関する意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保すること目的とし、教育課程編成委員会を設置する。尚、委員会では、次に掲げる事項を審議する。

- (1)カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- (2)各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- (3)教科書・教材の選定に関する事項
- (4)その他教員としての資質能力の育成に必要な研修に関する事項

カリキュラム会議では、教育課程編成委員会の審議内容を基に、授業科目の改善や新規開設、授業内容や授業方法の改善を検討する。これにより専攻分野で必要とされる知識・技能の修得を可能とする質の高い教育の提供を目指す。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年7月31日現在

名 前	所 属	任 期	種 別
小野 聡之	九州BMC常任相談役兼副会長	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日(1年)	①
西藤 未来	株式会社ディアーズブレイン 人材開発部	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日(1年)	③
郡 嶋 奨	麻生外語観光&製菓専門学校 副主任	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日(1年)	
東 まゆみ	麻生外語観光&製菓専門学校 ブライダル・ウェディング科 リーダー	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日(1年)	
中村 直輝	麻生外語観光&製菓専門学校 ブライダル・ウェディング科 教員	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日(1年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(9月・11月)

(開催日時(実績))

第1回 令和元年6月12日 17:20～18:00

第2回 令和元年10月16日 16:50～17:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

これからのブライダル業界は、SNSなどによるPRにも力を入れていくので、「フォト・映像」や「イラストレーターフォトショップ」などのカリキュラムが組み込まれていることについて有益であるとの意見をいただき、継続していく。
また、国家資格については、これから社内でも取得のための研修を行うなど、ブライダル業界での重要性が増しているの
で、引き続きカリキュラムに反映させる。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業連携の下、専攻分野における実務に関する知識、技術及び技能を教授し、就職に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを基本方針とする。

その内容については、将来ブライダル業界において即戦力となり得る人材育成のための、より実践的な職業教育の質の確保を目的とし、企業との密接な連携による最新の実務を的確に反映した教育を提供する。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

実習内容や勤務時間については、事前に企業と学校で協議を行い決定し、覚書に記載している。また、企業担当者に記載していただく評価表の内容や評価基準についても事前に確認を実施する。実習期間中には、個々の学修成果を確認するために学生に専用記録ノートを作成させる。最終評価は、企業の実習担当者による評価表と期間中の勤務状況、専用記録ノートの内容などを踏まえた総合評価とする。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
ブライダル実習A	企業連携により実施する、2週間のブライダル実習を通してブライダルの現場の仕事内容を理解し、必要とされる知識・技能を取得する。	(株)テイクアンドギブ・ニーズ、アルカディア、高見(株)、(株)エスクリ、(株)ノバレーゼ
ブライダル実習B	企業連携により実施する、8週間のブライダル実習を通してサービスにおいて必要とされる知識・技能を取得する。また各ブライダルの現場を通して、最新のトレンドとブライダルマーケットの現状を学ぶ。	八芳園、ホテル雅叙園東京、明治記念館、椿山荘

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

業界就職に求められる人材像を分析し、カリキュラムやシラバスに反映させ、更に即戦力となる人材の育成を図るため、「教職員研修規程」に則り、教職員の能力及び資質等の向上を目的とした研修を継続的に実施することを基本方針とする。

定期的実施されるブライダル系関連団体の会合や研修等に参加し、業界に関する情報交換やトレンドの研究を把握し企業視点を軸とした教育サービスの提供を目指す。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:「期待通りでなく、期待を超える結婚式づくり～私たちにまだ出来ること～」

連携企業等:九州BMC(講師:有賀 明美ウエディングプランナー))

期間:令和元年7月25日 対象(参加者):東 まゆみ

内容:期待通りではない、期待を超える結婚式づくりを、業界最大手であるテイクアンドギブニーズ有賀氏が講演する

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:「3つのポリシーの策定・運用実践」

連携企業等:学校法人先端教育機構(講師:富井久義)

期間:令和元年9月11日、令和元年9月25日、令和元年10月30日 対象(参加者):東 まゆみ

内容:教育の質保証における3つのポリシーの重要性及び関連性について理解するとともに、その策定や運用方法を実習やケーススタディなどを通じて学ぶ

(3) 研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:「JASRAC×BRIGHT直接対談」 連携企業等:JASRAC(講師:寺内 恒太氏) BRIGHT(講師:夏目 哲宏)
期間:令和2年7月30日 13030~15:0 対象:中村 直輝
内容:ブライダル音楽著作権についてすべて聞く
オンライン配信はどのようにルール化されるか。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:コーチング基礎「相手も自分も活かす個別対応強化研修」 連携企業等:組織デザイン・ラボ
期間:令和2年9月、12月 対象:東 まゆみ
内容:人との関わり方や考え方による4つのタイプを知り、タイプ別の対応方法を学ぶ

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本校の基本方針に基づき、学校運営が適正におこなわれているかを企業関係者、保護者、地域住民、高校関係者等の参画を得て、包括的・客観的に判定することで、学校運営の課題・改善点・方策を見出し、学校として組織的・継続的な改善を図る。また、情報を公開することにより、開かれた学校作りをおこなう。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育成人材像、他
(2) 学校運営	運営方針、事業計画、人事・給与規程、業務効率化、他
(3) 教育活動	業界の人材ニーズに沿った教育、実践的な職業教育、教職員の資質向上、他
(4) 学修成果	教育目的達成に向けた目標設定、事後の評価・検証、就職率、退学率、他
(5) 学生支援	修学支援、生活支援、進路支援、卒業生への支援、他
(6) 教育環境	教育設備・教具の管理・整備、安全対策、就職指導室・図書室の整備、他
(7) 学生の受入れ募集	APの明示、進路ニーズ把握、パンフレット・募集要項の内容、公正・適切な入試
(8) 財務	財政的基盤の確立、適切な予算編成・執行、会計監査、財務情報公開
(9) 法令等の遵守	専修学校設置基準の遵守、学内諸規程の整備・運用、自己点検・評価、他
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献、地域貢献、学生のボランティア活動の推奨、他
(11) 国際交流	留学生の受入れ、支援体制

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

新しく取り入れるドレススタイリスト検定や、ブライダルフラワーコーディネーター検定、フラワーカラー検定、メイクアップ検定、ネイル知識検定など、ブライダル業界の現場や、採用の立場からどのように評価されるか意見を伺った。ブライダルに関する知識として検定を取得することは、仕事の幅を広げることになり、協力して1つの式を作り上げる上で大切である。また、お客様からも知識の豊富さから信頼されるので、良いことだとアドバイスをいただき、実践することになった。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
溝口 敦子	ホテル・リゾート科在校生 保護者	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	保護者
堀部 豊和	平成22年度 卒業生	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	卒業生
浦川 美代子	博多駅南1丁目1区 自治会長	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	地域住民
甲斐 直樹	福岡県立嘉穂東高等学校 校長	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	高校関係者
松坂 寛則	九州マレーシア協会 事務局長	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	企業等委員
鶴田 武彦	福岡県洋菓子協会 専務理事、事務局長	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	企業等委員
翁林 友子	ANA福岡空港株式会社 旅客サービス部 旅客サービス課 マネージャー	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(2年)	企業等委員
尾本 聡	ANA福岡空港株式会社 貨物・グランドサービス部 マネージャー	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(2年)	企業等委員
大屋 寿	株式会社 ニューオータニ九州 執行役員人事総務部長	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日(2年)	企業等委員
柳原 久一郎	株式会社ブライトウェイ	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

<https://asojuku.ac.jp/about/disclosure/doc/aftc/2019/hyoka.pdf/>

公表時期: 令和元年7月22日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育方針・カリキュラム・就職指導状況など学校運営に関して、企業等や高校関係者・保護者などに広く情報を提供することで、学校運営の透明性を図るとともに、本校に対する理解を深めていただくことを目的とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	歴史、教育理念、教育目標、ASOの考え方、6つの特徴
(2)各学科等の教育	入学者受入れ方針、教育課程編成・実施方針、カリキュラム、国家資格・検定、就職情報
(3)教職員	教員一覧及び実務家教員科目
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職サポート、GCB教育、企業連携
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事、学園祭、部活動・サークル活動、学外ボランティア
(6)学生の生活支援	生活環境サポート、留学生学習・生活サポート、留学生就職サポート
(7)学生納付金・修学支援	学費とサポート、学習支援、各種支援制度
(8)学校の財務	事業報告書、貸借対照表、収支計算書、財産目録、監査報告書
(9)学校評価	自己点検・評価、学校関係者評価
(10)国際連携の状況	留学生入学案内、留学生募集分野、グローバル教育、海外での大学教育
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

<http://www.asoiuku.ac.jp/aftc/>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 ブライダル・ウエディング科) 令和2年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ウエディングセレモニー論A	ブライダル産業の成り立ちから、結婚式の形式などの知識を学ぶ	1前	30	2	○			○	○			
○			ウエディングセレモニー論B	ブライダル産業の成り立ちから、結婚式の形式などの知識を学ぶ	1後	30	2	○			○	○			
○			ウエディングプラン演習	オリジナルウエディングの企画・演出能力を養う	1後	30	2	○			○	○			
○			ブライダルメイクA	ブライダル業界で働く上で必要な基本メイクを学ぶ	1前	15	1		○		○		○		
○			ブライダルメイクB	ブライダルの簡単なヘアメイクがお客様にできるようになる技術を養う	1後	15	1		○		○		○		
○			ブライダルフラワー I A	ブライダルの現場に必要な基本の花の取り扱い方、花の流通を習得する	1前	15	1		○		○		○		
○			ブライダルフラワー I B	ブライダルの現場に必要なブーケ、装花の知識を習得する	1後	15	1		○		○		○		
○			ブライダル衣裳 I	ドレスコーディネーターとして必要な知識を習得する	1後	15	1		○		○		○		
○			ブライダル接客演習 I	ブライダルスタッフとして必要な接客技能の基本を身につける	1後	15	1		○		○		○		
○			カラーコーディネート演習A	披露宴の演出及びドレス・装飾などに必要な色についての基礎知識を深める	1前	15	1		○		○		○		
○			カラーコーディネート演習B	披露宴の演出及びドレス・装飾などに必要な色についての基礎知識を深める	1後	15	1		○		○		○		
○			レストラン・バンケット演習 I A	レストランウエディングや披露宴での料理、飲物のサービスについて学ぶ	1前	15	1		○		○		○		
○			レストラン・バンケット演習 I B	披露宴会場でのサービスを想定し、婚礼料理や飲み物の知識を学ぶ	1後	15	1		○		○		○		
○			ブライダル産業演習 I A	ブライダル施設の知識を深め、専門式場やチャペル見学によりブライダル業界についての知識を深める	1前	15	1		○		○	○	○		

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ブライダル産業演習ⅠB	現場担当者の講話及びセミナーを実施し、ブライダル業界の視野を広げる	1後	15	1		○			○	○		
		○	業界アルバイト	ブライダル業界で仕事をする事により、現場に早く慣れ、知識を見つけることができる	1後	15	1			○				○	
		○	海外ウェディング研修	海外ウェディングの現場を視察し、実務を見学することにより、職業観を深める	1後	40	1					○	○		
○			一般教養ⅠA	就職試験対策として基本事項を学ぶ	1前	15	1	○				○			○
○			一般教養ⅠB	就職試験対策として基本事項を学ぶ	1後	15	1	○				○			○
○			SPIⅠ	就職試験筆記対策として学ぶ	1後	15	1	○				○			○
○			サービス接遇Ⅰ	サービス接遇検定を前提に、接客の基本動作、言葉遣いを習得する	1前	30	2		○			○		○	
○			Word	ビジネス文書作成法を学び、Word検定3級の取得を目指す	1前	30	2		○			○			○
○			PowerPointプレゼンテーション	視覚的表現スキルを高めるためにPower Pointの技能修得を目指す	1後	30	2		○			○			○
○			社会教養ⅠA	ブライダル実習の準備、学生紹介シートの作成する	1前	15	1		○			○		○	
○			社会教養ⅠB	自己分析、業界研究など就職のための準備をする	1後	15	1		○			○		○	
○			ペン字	社会人として日常業務に必要なペン字の基礎的な知識、技能の修得を目指す	1後	15	1		○			○			○
○			GCBⅠ	感謝心と思いやりの教育	1前	15	1	○				○		○	
○			ブライダル実習A	ブライダル企業で実習することにより知識と実践力を養う	1前	80	2			○		○		○	○
○			ブライダル実習B	ブライダルの現場にて実習し、仕事の内容、知識を深める	1後	320	4			○		○		○	○

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			Excel	グラフ・表作成法を学び、Excel検定3級の取得を目指す	2前	45	3		○		○			○	
○			GCB II	志について学ぶ	2前	15	1	○			○		○		
○			SPI II	就職試験に備えて筆記対策をする	2前	15	1	○			○			○	
○			Windows演習	1年次に学んだ接客の基本を活かし、より具体的な場面に応じた接客マナーの知識を学ぶ	2後	30	2		○		○				○
○			イベントプランニング	企画案をイベントとして実行できる力を養う	2前	15	1		○		○		○		
○			海外ウェディング概論	日本の海外ウェディングの歴史を学ぶと共に、現在の海外ウェディング事情を学ぶ	2後	15	1	○			○				○
○			国家試験対策	ブライダルコーディネーター技能検定取得を目指す	2後	45	3	○			○		○		
○			サービス接客検定 II	サービス接客検定2級、準1級を受験する力をつける	2前	30	2	○			○		○		
○			社会教養 II A	自己分析、業界研究など就職のための準備をする	2前	30	2		○		○		○		
○			社会教養 II B	社会人になるにあたって、必要な知識を身につける	2後	30	2		○		○	○	○		
○			パーソナルカラーA	色を人に活かす知識と手法を学び、パーソナルカラー検定3級の取得を目指す	2前	60	4	○			○				○
○			ブライダルコーディネーター演習	模擬結婚式に向けて必要な専門知識を身に付ける為、各分野の現役講師より最新のブライダル事情を学ぶ	2前	30	2		○		○		○	○	
○			ブライダル接客演習 II	ブライダルの各場面の現場での接客のやり方を学ぶ	2前	30	2		○		○				○
○			ブライダルフォト演習	ブライダル業界で必要な映像技法を学ぶ	2後	15	1		○		○				○
○			ブライダルマーケティング	ブライダル市場の状況や、経営について学ぶ	2前	30	2	○			○		○		

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			マナープロトコール	冠婚葬祭及び国際プロトコールについての知識を身につける	2前	30	2	○			○			○		
○			毛筆ペン字	社会人として必要な毛筆ペン字の基礎的な知識や技能の修得を目指す	2前	30	2		○		○				○	
○			和装着付け演習	和装を自分にも相手にも着付けができる力を養う	2前	30	2		○		○				○	
	○		ドレス演習(専攻) *A	ドレスコーディネーターを目指す為、衣裳についての知識を身に付ける	2後	120	8		○		○				○	
	○		ビューティー演習(専攻) *B	ブライダルメイク・ヘアアレンジ・ネイルなど、花嫁をトータルに演出するアイテムについて知識を深める	2前	120	8		○		○				○	
	○		スタイリスト演習 *A*B	体形に合わせた衣裳の選び方を学ぶ	2後	30	2		○		○				○	
	○		パーソナルカラーB *A*B	色を人に活かす知識と手法を学び、パーソナルカラー検定2級の取得を目指す	2後	30	2	○			○				○	
	○		ブライダル衣裳Ⅱ *A*B	ドレスやタキシード、和装についての知識を深める	2前	60	4		○		○				○	
	○		ブライダルネイル *A*B	模擬結婚式に向けて、全体のテーマの企画・運営を学ぶ	2前	30	2		○		○				○	
	○		ブライダルメイクヘアアレンジ *A*B	模擬結婚式に向けて、衣裳選定や着付けを学ぶ	2前	30	2		○		○				○	
	○		イラストレータフォトショップ *A*B*C*D	お客様への提案や、チラシ、資料などを作成する力をつける	2後	30	2		○		○				○	
	○		パーソナルカラーB *C	ブライダル商品の販売・広報用ツールとしての画像処理方法や活用方法を学ぶ	2後	30	2	○			○				○	
	○		ブライダルフラワーⅡ *C	結婚式場の会場装花の作成やブーケの作成について学ぶ	2前	60	4		○		○		○			
	○		フラワー演習(専攻) *C	模擬結婚式に向けて、ブーケ・会場装花の演出について学ぶ	2前	120	8		○		○		○			
	○		フラワーワークショップ *C	ブライダルの現場に必要なブーケ、装花の知識を習得する	2前	30	2			○	○				○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		ラッピング演習 *C	基本の箱積みから、ボトルなどのラッピング方法を学ぶ	2前	30	2		○		○		○		
	○		テーブルコーディネート演習	結婚式用のテーブルコーディネート・空間コーディネートについて実践を通して学ぶ	2前	30	2		○		○		○		
	○		司会演習 *D	結婚式での司会についてシナリオの作り方話し方を学ぶ	2後	30	2		○		○			○	
	○		ブライダル産業演習Ⅱ *D	式場の違いを学び、現場のスタッフより仕事を学ぶ	2後	15	1		○			○	○	○	
	○		レストランバンケット演習Ⅱ *E	国家試験HRSに向けて実技試験対策	2前	75	5		○		○			○	
	○		HRS対策 *E	国家試験であるHRSに向けて筆記試験対策	2前	60	4	○			○			○	
	○		音響照明演習 *D *E	結婚式での、音楽、照明について学ぶ	2前	30	2		○		○	○		○	
	○		ブライダルプランナー検定対策 *D	ブライダルコーディネート技能検定取得を目指す	2前	60	4	○			○		○		
	○		プランナー演習(専攻) *D *E	模擬結婚式に向けて、全体のテーマの企画・運営を学ぶ	2前	120	8		○		○		○		
	○		ホテル概論 *D *E	ホテルのしくみを知り、ホテルの中でのブライダルについて学ぶ	2前	30	2	○			○		○		
合計					69科目		2615単位時間(152単位)					

選択必須科目は、*A *B *C *D *Eのいずれかの科目を選択する。

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
ア. 指定科目すべての修得 イ. 各学年の出席率90%以上 ウ. 卒業基準指定の取得 エ. 学生としてふさわしい生活態度	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週